

学校評価アンケート結果報告

令和8年1月
大阪高等学校

本校では、よりよい学校づくりを目指して改革を続けております。教育環境を整え、より大きな教育成果をあげることを目的に、様々な取り組みを重ねて参りました。その成果を検証するとともに、さらなる改善に向けた課題形成を図る機会の一つとして本年度も学校評価アンケートを実施しました。集計結果に分析を加え、学校改革・教育改善の進捗をお伝えすべく、本書面をまとめました。ご高覧のうえ、忌憚のないご意見等を頂戴できれば幸甚です。

学校長 平野宏太

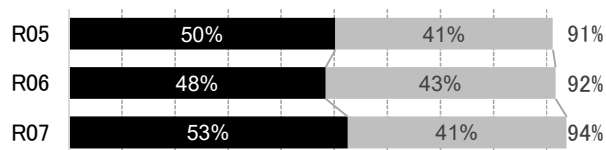
凡例と集計方法について

凡例：■ そう思う ■ どちらかといえばそう思う

集計結果は、断りがない場合、「わからない」を除いた有効回答を分母とした百分率で表示しています。グラフ内の値は小数点以下を四捨五入しているため、表示が一致しないことがあります。今後も情報発信の充実を図り、意図の説明をはっきり行うことで、回答留保のないご明確なご判断を皆様に仰げるよう努めて参ります。

「入学させて良かった」は9割超を維持

Q1 お子様を大阪高校へ入学させてよかったと思われ
ますか。(≡総合的な満足度)



毎年お尋ねしている「大阪高校に入学させてよかったか」という質問では、肯定的な回答の割合は徐々に積み上がり、今期は94%に達しました。教育活動へのご理解に心から感謝いたします。しかしながら、「そう思う」は53%で、「どちらかといえば」という但し書きの付く答えが4割を占めています。今回の調査や、様々な場でのコミュニケーションを通して、改善課題の所在を優先順位とともに明らかにして、一つひとつその解消を図ることで、より強固な支持を得られるよう努めます。次の100年に向けた改革も進めます。これからの大高にご期待ください。

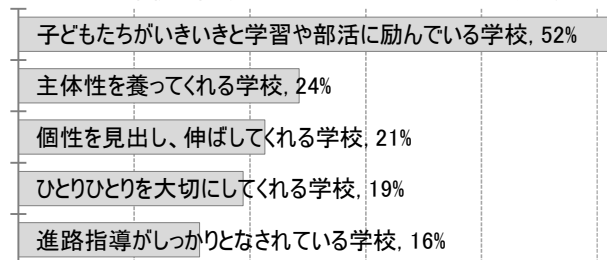
来年度、2026年4月からは学校5日制も始まります。「全日制普通科の魅力を最大限に発揮する学校」を目指します。「対面での授業」「集団での行事」「多様な課外活動」は、生徒一人ひとりが存分に成長するのに欠かせないもの。5日制は、土曜日を生徒に全力で課外活動に熱中してもらったり、その過ごし方を自由・主体的にデザインしてもらったりするための

措置です。もちろん、授業も疎かにしません。月曜日から金曜日の学びの密度を高めるべく、指導技術を磨き、指導計画の最適化を図っていきます。

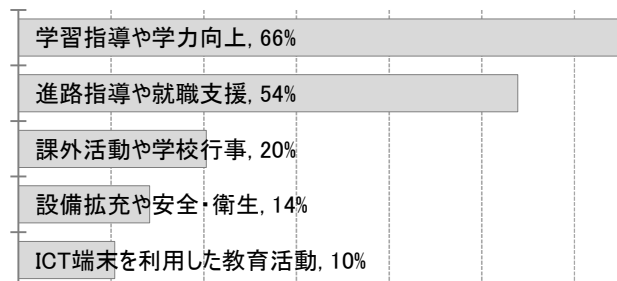
今回の学校評価アンケートでは、全ての評価項目で過年度を超える高い評価をいただきました。特に、学習指導、進路指導、学校行事での評価の改善は、これまでに工夫を重ねてきた成果を実感できるものでした。自律学習や行動選択といった、好ましい行動・姿勢の獲得も、保護者の皆様の目を通してご確認いただけた様子です。さらなる教育改善に向けて、日々の教育活動の中での観察や指導を通して、次の一步を常に考えていきたいと思います。

学校のイメージと改善課題

Q2 本校の特徴として次のどれが当てはまりますか。



Q3 学校にさらなる充実を求めたいものは何ですか。



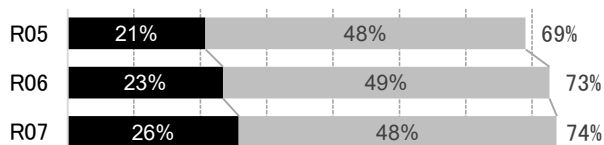
本校の特徴では「子どもたちがいきいきと学習や部活に励んでいる学校」が最も多くを占めることに変化はありません。大切にすべき「大高の良さ」だと考えます。時代の要請に沿う教育改革を進める中で

も、この「良さ」を失わない学校経営を心掛けます。充実を求めたいものに「学習指導や学力向上」「進路指導や就職支援」が多く挙がるのも過年度と同じです。獲得させたい資質に「将来を切り開いていく力」が最も多く挙げられますが、土台となる「確かな学力」の形成と、生徒一人ひとりの資質や志向に合致した進路の発見と実現に、今後も全力で取り組みます。

学習指導と進路指導のさらなる充実

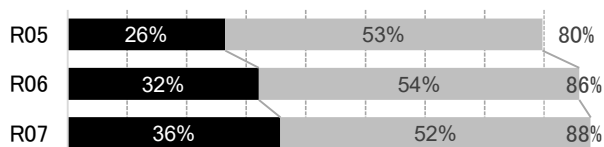
「学習指導や学力向上」「進路指導や就職支援」でのさらなる充実を求める多くの生徒・保護者の声に応えるべく、考え得る様々な改善を重ねて参りました。一定の評価は得られているものの、さらなる改善を目指し、今後も着実に歩を進めて参ります。

Q4 学習指導は充実しており、学力向上に十分な成果を挙げていると思われますか。



学習指導に対しては過年度を超える評価をいただき、肯定的な回答が占める割合は 7 割を超えています。まだ「どちらかと言えば」が多くを占めている状態です。授業評価アンケートの結果も踏まえ、教科学習指導のスキル向上、新しい学力観を反映した授業作りに今後も取り組んでいきます。校内では優良実践の共有と教育手法開発に向けた、各教科での研究協議の充実も図っています。教科固有の学習内容の確かな定着に加え、協働性や多様性、主体的に学ぶ姿勢などの涵養には今後も一層注力していきます。

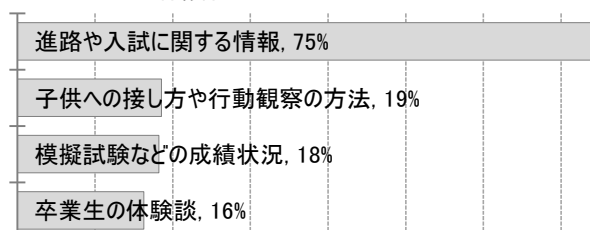
Q5 進路指導が充実しており、生徒の希望進路の発見・実現に十分に役立っていると思われますか。



進路指導への評価も年々向上してきました。まだ改善の余地は小さくありませんが、これまでの取り組みを精査し、その効果をさらに高める工夫を重ねて参ります。3年生の保護者からの評価は、これまで通り、概ね良好な評価ですが、昨年来、1年生、2年

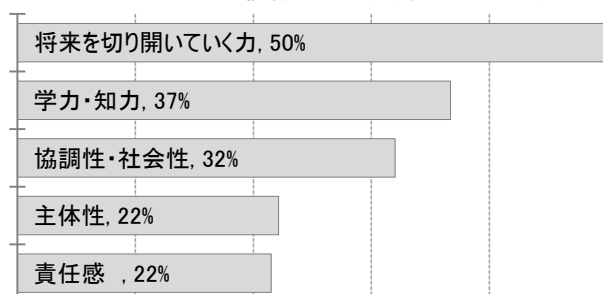
生も良好な評価をいただいています。ここで歩を止めず、入学から卒業までを見通し、計画的な進路指導を実践できる指導スキルの向上とアップデートにも取り組んでいきます。各コースが目標とする多様な進路の実現を目指し、「生徒一人ひとりが社会と自分に向き合う機会」の整備にも努めます。

Q6 保護者会などで取り上げてほしいことは？



「保護者会やクラス懇談会で取り上げてほしいこと、充実を望むことはどれですか」という質問には、これまで同様、「進路や入試に関する情報」の選択が多く見られ、進路を取り巻く状況や指導の実態（進捗と課題）に強い関心が向けられています。他項目では回答の分布にコースや学年ごとの特徴があります。それぞれのニーズをより精緻に把握した上で、必要な情報を、余さずに届けていきたいと考えます。

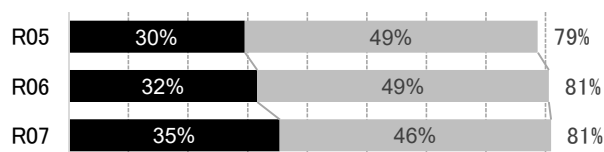
Q7 子どもに獲得させたい資質はどれですか。



子どもに獲得させたい資質に上がった項目の分布にこれまでと大きく変わるところはありません。不動のトップは「将来を切り開いていく力」であり、その涵養には最優先で取り組んでおります。生徒が自らの将来を切り拓く力の源は「確かな学力」、それを正しい方向に活かす羅針盤と舵は、「進路指導」です。何よりもこれらの一層の充実を図ります。協調性・社会性、責任感を養う機会は、学校行事や委員会活動など、多角的に用意しています。個々に最適化を図ると同時に、それぞれの教育活動（学び）の成果が相乗効果を得るような、全体設計を整えていきたいと考えます。まずは来年度からの 5 日制での土曜日の学びにご期待をいただきたく存じます。

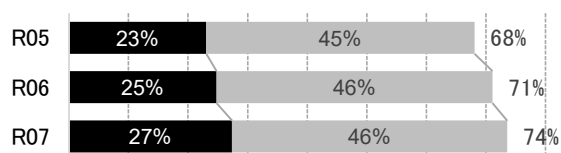
目標をもってひたむきに頑張る姿

Q8 保護者の目から見てお子様は、学校生活の様々な場面で目標をもってひたむきに頑張っていると思いますか。



「学校生活の様々な場面で目標をもってひたむきに頑張っていますか」という問いへの肯定的な回答が占める割合も上昇が続いています。生徒の情熱とチャレンジを応援するのは「校是」です。生徒一人ひとりが自分の目的を見出せるよう、「振り返り」と「次に向けた課題の設定」にこれまで以上の力を入れて指導に当たります。別質問で尋ねた「頑張る対象」で教科学習や進路実現、クラブ活動を挙げた保護者がこの問い(Q8)に肯定的な答えを選ぶ傾向は、今年も変わりません。興味・関心を刺激する授業の実践、自分の将来に向き合う機会の創出、一人ひとりが活躍できる部活の環境作り等に改めて取り組みます。

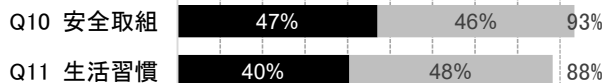
Q9 お子様は、自分なりの目標や課題をもって日々の学習に取り組めるようになりましたか。



学習面に絞ってお尋ねした「お子様は、自分なりの目標や課題をもって日々の学習に取り組めるようになりましたか」という質問でも、未だ十分な水準ではありませんが、肯定的な回答が徐々に増えています。「そう思う」の選択率を増やすべく、引き続き改善に取り組んでいきます。「目標や課題」を学びに見出すのに、進路意識の芽生えを待つのではなく、定期考査などで日々の学びを振り返る中で、「進捗と改善課題を捉えた学び」を実現させたいと考えています。こうした指導に、すべての教科担当者が目線を合わせて取り組んでおり、そのノウハウも蓄積されつつあります。また、学びに自分の目標が結びつく最大の要因は、進路希望を見出すことに外なりません。早期から段階的に、進路意識の形成を図ることが肝要と考えます。近年、大高で整備が進められてきた「探究的な学び」の場を通して、生徒一人ひとりが「学ぶことへ

の自分の理由」を見つけ出すのを支えています。

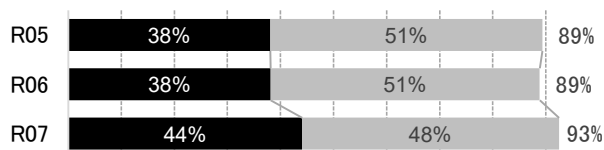
安全確保と規律ある生活の実現



「生徒の安全に対する学校の取り組み」は引き続き高い評価をいただいています。「高校生にふさわしい規律ある生活」も改善が進んできました。両項目とも、「どちらかと言えば」との但し書き付きの肯定に止まる答えが多く、指導には見直すべき点がまだありそうです。後者では、強い相関で結ばれる「目標努力」「行動選択」「自律学習」などと一体で改善を図る必要があり、今後もその方向で指導に当たります。

学校広報のさらなる充実を図ります

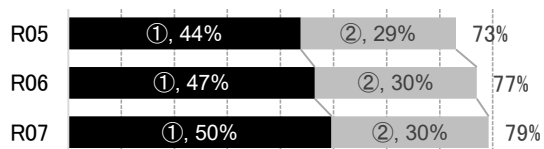
Q12 学校からの連絡文書や懇談会などを通じて学校の様子は十分に知ることができますか。



学校広報でも昨年を上回る評価を得ました。肯定的な回答の占める割合が9割を超えました。学年や学期によってご家庭の関心も変わってきます。時期に応じた適切で十分な情報発信に努めて参ります。学校ホームページでの情報発信にも、これまで以上に力を入れています。サイトをお訪ねいただき、生徒の頑張りとその成果を是非ともご覧ください。

Q13 進路希望や将来の職業あるいは学校での様子などについて家庭で話をすることはありますか。

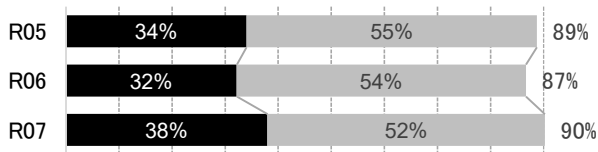
- ①話をする機会がよくあり、保護者も関心をもって会話に臨んでいる
- ②話をする機会はあるが、あまり突っ込んだ話にはならない



半数のご家庭で、十分な会話が実現しているようです。生徒の成長に不可欠な「家庭での対話」がより充実するよう、進路選択をはじめ、時期に応じた話題とその材料の提供に、今後も力を入れて参ります。

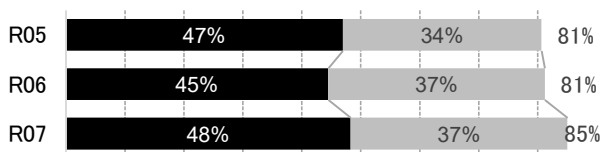
学校行事、部活動の指導

Q14 学校行事が充実しており、行事についての様々な工夫や学校の姿勢が強く感じられますか。



総合満足への寄与度の大きい項目ですが、昨年度まで評価が低下傾向にありました。本年度ようやく回復の兆しが見られたものの、まだ「そう思う」との積極的な肯定は 4 割に満たず、改善は道半ばです。来年度からは土曜日を課外活動に充て、より一層の充実を図っていきたいと考えます。行事は主体性や協働性を育む「教育の場」として不可欠です。今後とも「生徒が主役の学校行事」の実現に努めます。

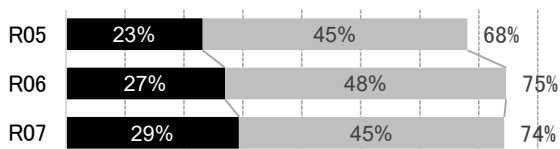
Q15 生徒の部活動に対して、クラブ顧問は熱心に指導していると思われますか。



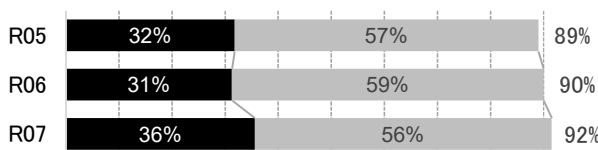
部活動顧問の指導への評価も昨年度まで低下傾向でしたが、やや回復しました。「わからない」を選ぶケースも 4 割を超えており、ご家庭で顧問の指導を評価する材料不足という課題は今年も残りました。

将来を考えた行動選択、共存の資質

Q16 保護者の目から見てお子様は、自分の将来と結びつけて今なすべきことを考えられるようになりましたか。



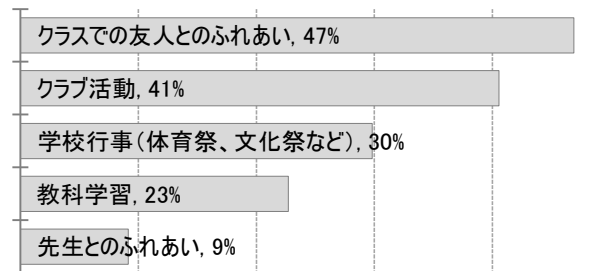
Q17 保護者の目から見てお子様は、立場の異なる相手の意見にもちゃんと耳をかたむけるようになりましたか。



保護者の目を通した生徒の成長ぶりを「将来と結

び付けた行動の選択」「立場の異なる相手に耳を傾ける姿勢」についてお尋ねしました。両項目とも「そう思う」の選択率は上昇していますが、まだ「どちらかと言えば」との但し書き付きが多く残ります。我が子の更なる成長への保護者の期待の表れとして数字にしっかり向き合う所存です。前者では先に控えるハードルを見据えた「選択の力」の養成に注力します。

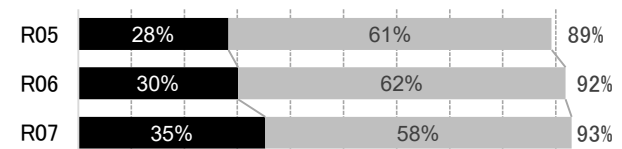
Q18 お子様が意欲的に取り組んだり評価していることは何ですか。



育友会の活動、保護者との相互理解

育友会の活動に「関心がある」は 36%（昨年は 33%）、「内容を知っている」は 38%（同 33%）でした。数値に改善はみられるものの、まだ活動と広報の両面で大きな不足が否定できない結果です。

Q20 学校は、保護者や地域からの要望・意見に対して誠実に対応していると思いますか。



保護者のご要望や意見への学校の誠実な対応には肯定的な評価が増えています。但し書きのない「そう思う」も 35%まで増えてきました。アンケートで寄せられた声にしっかり向き合うことから、誠実な対応への第一歩を踏み出していきたいと思ひます。

大阪高校は今後も改革を続け、地域の期待に応える学校、在校生・卒業生が今以上に誇りに思える学校を目指します。今後ともご支援とご協力をお願いします。

本報告書へのご意見・ご質問は下記にて承ります。

TEL:06-6340-3031 FAX:06-6349-3719

保護者による学校評価アンケート担当: 教頭 山原康治